

150MHz帯の電波を使用する登山者等の位置検知システムに関する調査検討会（第1回）を開催



局長挨拶

北陸総合通信局（局長 伊丹 俊八）は、平成26年7月2日に金沢市内において「150MHz帯の電波を使用する登山者等の位置検知システムに関する調査検討会」の第1回会合を開催しました。

本検討会は、山岳での伝搬特性に優れた150MHz帯の電波を使用する登山者等の位置検知システムを実現するため、動物検知通報システム（特定小電力無線局）との周波数共用方法等の検討を行うもので、学識経験者、登山及び野生動物対策の関係者、無線機器メーカー等の委員から構成されています。



岡田座長

冒頭、主催者挨拶にたった伊丹局長からは、ICTを手段として活用して、安心・安全で便利な街づくり、観光・産業振興による元気な地域の実現に貢献するための施策を推進しており、技術面に加え、実用、普及に向けたサービスモデル等にも踏み込んだ検討をお願いしたいとの期待が示されました。



委員の発表

第1回会合では、座長に富山県立大学岡田教授を選出し、その後、関係委員から①山岳遭難の現状、②登山者位置検知システムの現状、③動物位置検知システムの利用の現状と課題についての発表を受けて意見交換を行い認識の共有を図りました。

本調査検討会は、モデルシステムによる実証試験等を含む検討を行い平成27年3月までに報告書を取りまとめることとしています。

問い合わせ先：企画調整課 076-233-4470